



1年 関 浩佑くん

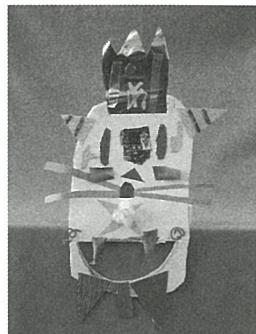


『ぼくのバック』

※お正月らしく、たここまとはこいたとはねをかざりにつけました。



2年 鈴木 涼太くん



『おにのおめん』

※目や葉っぱのきばがむずかしかつたけれど強そうな顔になるように工夫しました。

あつまれ みんなの 力作

林 和 誉



3年 林 和誉くん

※家でも習字の練習をしています。この字は、はらいに気をつけて書きました。



『おたんじょう日 おめでとう』

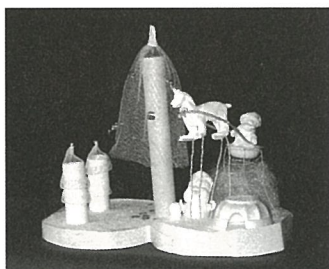


4年 高嶋 和貴くん

※大きなケーキが、とび出すように工夫して作りました。これからもきれいに作りたいです。



5年 鈴木ひかりさん



『白の世界』

※雪国の雰囲気を出すのが難しかったです。トナカイが空を走っているように工夫してみました。



6年 深田 正実くん

自然の美

※僕は、字の大きさとバランスに気をつけて、力強く書きました。



ひかり俳壇



秋山 一泉 (栢田) 健やかに八十七歳今朝の春

壮健に過ごし八十七歳の春を迎えた喜びと自負心のないませた心情がよく出て居る

土屋 義昭 (虫生) 生薬を商う店の福寿草

福寿草は有害であるが根は強心剤となると言われている。新鮮な感性が捉えた作品である

越川せつ子 (篠本) 胸に抱く嬰のぬくもり福寿草

抱きとったみどり児の体温を通してみどり児への愛育の情がより深くなった。季節的確

川島 孝夫 (二又) 福寿草米寿の母に娘の笑顔

大木 静水 (篠本) 一族の揃う団欒福寿草

土屋美枝子 (宝米) 日溜まりに寄り添うごとく福寿草

越川 義則 (二又) 災わいを転じて福の福寿草

短評 椎名しげる

評者吟 朗々と尺八の音や福寿草

